



IT Automation

ホストグループ管理・メニュー作成
[実習編]

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro IT Automation Version 1.8
Exastro developer

目次

1. はじめに

1. [本書について](#)
2. [作業環境](#)
3. [シナリオ](#)

2. 実習 シナリオ①

[シナリオ① 全体図](#)

1. [事前準備](#)
2. [オペレーションの登録](#)
3. [Movementの設定](#)
4. [Conductorの作成](#)
5. [ホストグループの設定](#)
6. [メニューの管理](#)
7. [データ登録](#)
8. [代入値自動登録設定](#)
9. [代入値・作業対象ホストの確認](#)
10. [Conductorの実行](#)
11. [参照用パラメータシートの確認](#)

3. 実習 シナリオ②

[シナリオ② 全体図](#)

1. [オペレーションの登録](#)
2. [ホストグループへのホスト追加](#)
3. [データ登録](#)
4. [代入値・作業対象ホストの確認](#)
5. [Conductorの実行](#)

1. はじめに



1.1 本書について

本書について

以下の機能について実習形式で作業を進め、理解を深めていただけます。
作業の実行には**Ansible-Legacy**を用います。

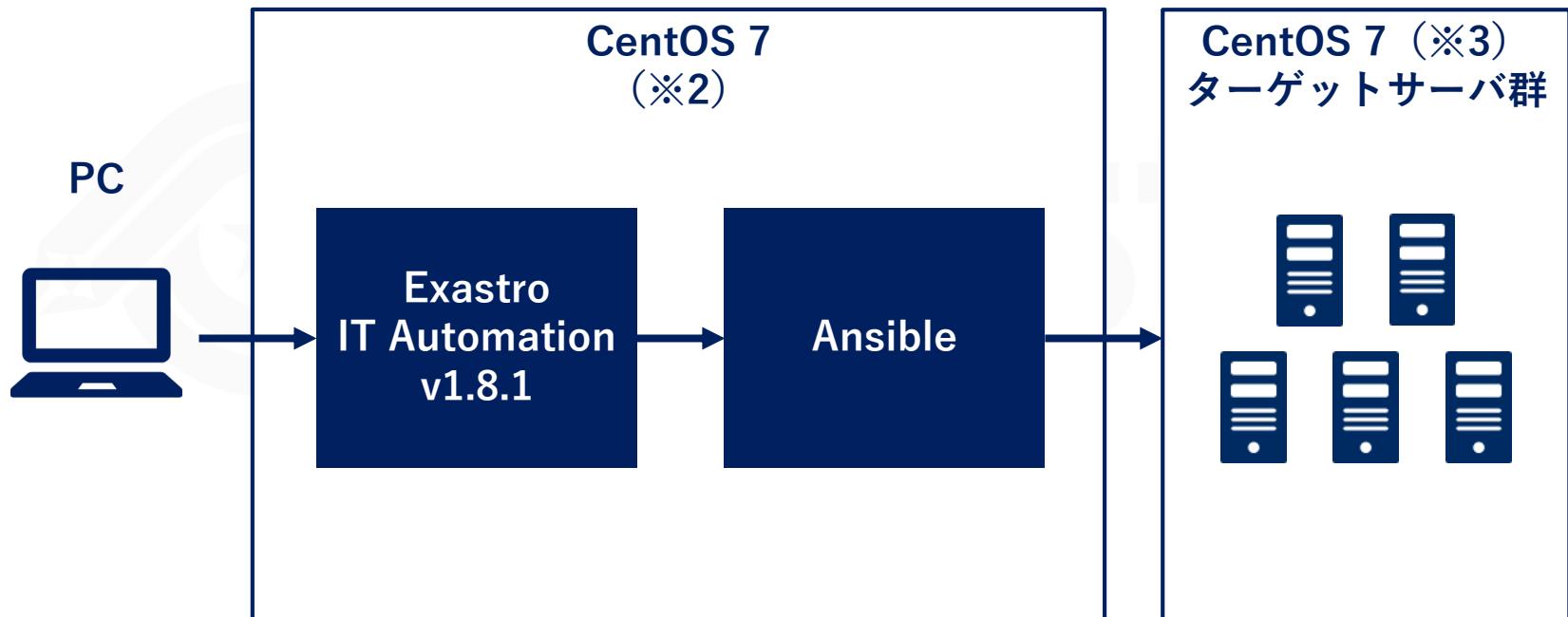
- ホストグループ管理
- メニュー作成



1.2 作業環境

作業環境

- 本書で使用する作業環境は以下の通りです。
- ITAホストサーバとは別に、作業のターゲットとなるサーバを5台(※1)ご用意ください。



※1 ホストグループ機能の利便性を明確に体感するための台数であり、3~4台であってもシナリオは体験いただけます。

※2 ITAはRHEL7系およびRHEL8系のOSで導入いただけます。

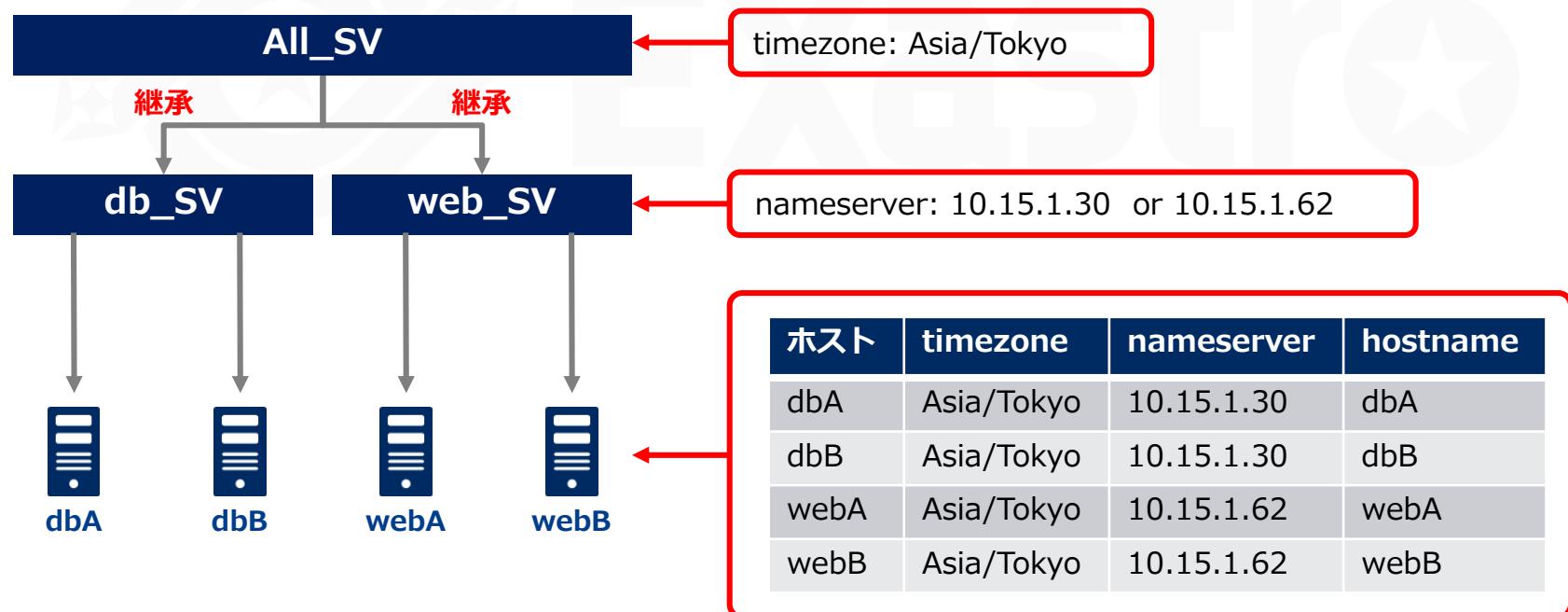
※3 Ansibleの動作対象となれるOSであれば、問題なくご利用いただけます。

1.3 シナリオ (1/2)

シナリオ① サーバ全体に基本設定を行う

ホストグループ機能とメニュー作成機能を活用し、以下の作業を実施します。

- ① 親ホストグループ「All_SV」へ共通のタイムゾーンを設定する。
- ② 子ホストグループ「db_SV」「web_SV」別に異なるDNSサーバのIPアドレスを設定する。
- ③ ホストそれぞれに個別のホスト名を設定する。



1.3 シナリオ (2/2)

シナリオ② 追加したサーバにだけ作業を実行する

前項の作業後にサーバを追加する作業を想定します。

Playbookに幕等性がある場合であれば、

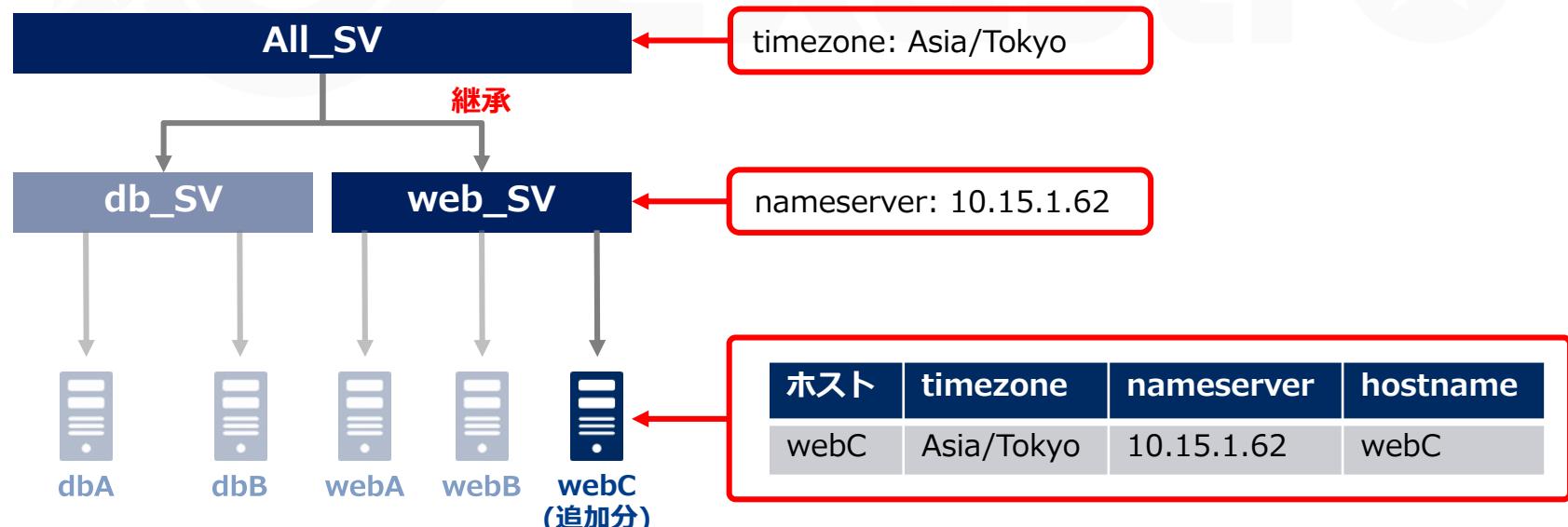
1)追加サーバをホストグループに追加し、2)同じ作業を実行する だけで設定が完了します。

しかしファイルに追記を行うものなど、幕等性のないPlaybookもあります。

これを同じホストに繰り返し適用した場合、余分な追記が行われるなどの不都合が生じます。

そのような状況を想定し、作業②では追加分のサーバにだけ作業を実行します。

実行するConductorの内容などは作業①と共通です。



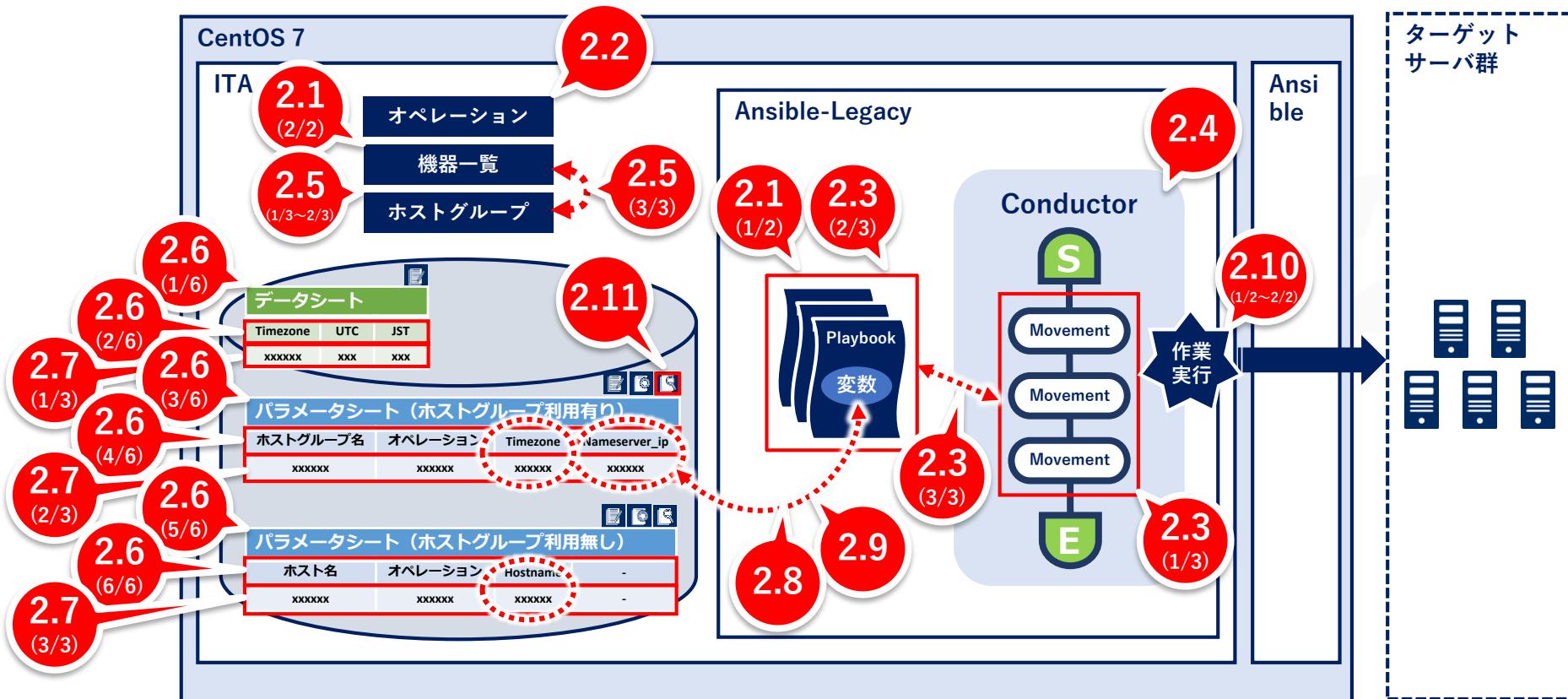
2. 実習 シナリオ①



シナリオ① 全体図

以下の図の流れで作業していきます。

- [シナリオははこちら](#)



2.1 事前準備 (1/2)

Playbookを作成する

本シナリオで使用するPlaybookは以下の3つです。

下記内容のファイルを作成して下さい。

【注意】

- ・文字コードは“UTF-8”、改行コードは“LF”、拡張子は“yml”で作成してください。
- ・下記のソースコードをコピーして使用する場合は、インデントに注意してください。

```
- name: Set Timezone
  timezone:
    name: "{{ VAR_locale_timezone }}"
```

ファイル名: 1-set_timezone.yml
タイムゾーンを指定の値に変更します。
今回は全ホスト共通の値を代入します。

```
- name: Add Nameserver
  shell: 'echo nameserver {{ VAR_nameserver_ip }} >>
/etc/resolv.conf'
```

ファイル名: 2-set_nameserver.yml
/etc/resolv.confへの追記を行います。
寡等性がないため、各ホストに一度だけ
実行します。

```
- name: Set Hostname
  hostname:
    name: "{{ VAR_hostname }}"
```

ファイル名: 3-set_hostname.yml
ホスト名を変更します。
今回はホスト別の値を代入します。

2.1 事前準備 (2/2)

作業対象ホストを登録する

作業の実行対象となるホストをITAに登録しましょう。

今回の登録は5台分です。

※webCはシナリオ②で使用します。

メニュー：基本コンソール > 機器一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

	HW 機器種別	ホスト名	IPアドレス	ログイン ユーザID	管理	ログイン パスワード	Ansible利用情報
							Legacy/Role利用情報
							認証方式
1台目	SV	webA	対象機器のIPアドレス	(任意の値をご設定下さい)	●	(任意の値をご設定下さい)	パスワード認証
2台目		webB					
3台目		dbA					
4台目		dbB					
5台目		webC					

2.2 オペレーションの登録

オペレーションを新規登録する

オペレーションを作成しましょう。

メニュー：基本コンソール > オペレーション一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*	アクセス権	
				設定	アクセス許可ロール
自動入力	自動入力			設定	

オペレーション名	実施予定日時
基本設定 全台	(任意でご入力下さい)

「実施予定日時」は管理用の項目です。
自動的に処理が実行されるわけではありません。

2.3 Movementの設定 (1/3)

Movementを作成する

先のPlaybookを関連付けるMovementを登録しましょう。

メニュー : Ansible-Legacy > Movement一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

The screenshot shows a form for creating a new movement. The 'Movement名*' field and the 'ホスト指定形式*' dropdown are highlighted with red boxes.

Movement名	ホスト指定形式
Set Timezone	IP
Set Hostname	IP
Add Nameserver	IP

2.3 Movementの設定 (2/3)

Playbookを登録する

作成したPlaybookをITAに登録しましょう。

メニュー : Ansible-Legacy > Playbook素材集

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② [参照] からPlaybookを選択し、「事前アップロード」を行う。
- ③ 各項目へ下表のように入力し、「登録」を押下する。

素材ID	Playbook素材名*	Playbook素材*	アクセス権
自動入力		ファイルを選択 選択されていません 事前アップロード	設定 アクセス許可ロール
		アップロード状況:	

Playbook素材名	Playbook素材
set_timezone	1-set_timezone.yml
add_nameserver	2-set_nameserver.yml
set_hostname	3-set_hostname.yml

2.3 Movementの設定 (3/3)

MovementにPlaybookを紐付ける

作成したMovementとPlaybook素材を関連付けましょう。

メニュー: Ansible-Legacy > Movement-Playbook紐付

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

紐付項目番	Movement*	Playbook素材*	インクルード順序*
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Movement	Playbook素材	インクルード順序
Set Timezone	set_timezone	1
Add Nameserver	add_nameserver	1
Set Hostname	set_hostname	1

2.4 Conductorの作成

Conductorを作成する

定義したMovementをまとめたConductorを作成しましょう。

メニュー: Conductor > Conductorクラス編集

The screenshot shows the Exastro Conductor editor interface. On the left, there's a canvas with a flowchart. It starts with a 'Start' node (S), followed by three 'Ansible Legacy' nodes numbered 6, 8, and 7 from left to right. Node 6 is 'Set Timezone', node 8 is 'Add Nameserver', and node 7 is 'Set Hostname'. These three nodes are highlighted with a red box. Arrows connect them sequentially. The flow ends at an 'End' node (E). On the right side, there's a sidebar for 'Conductorクラス編集'.

- 1**: A callout points to the 'Name' field where 'サーバ基本設定' is entered. This is labeled 'Conductorの名称を入力する。' (Input the Conductor name).
- 2**: A callout points to the 'Movement' list on the right, which contains four items: 'GatherFacts03', 'GatherFacts04', 'Set Timezone', 'Set Hostname', and 'Add Nameserver'. The last three are highlighted with a red box. This is labeled 'ドラッグ&ドロップで必要なMovementを追加する。' (Drag & drop to add required Movement).
- 3**: A callout points to the connection between node 6 and node 8, indicating the sequence of operations.
- 4**: A callout points to the '登録' (Register) button at the bottom left of the sidebar.

2.5 ホストグループの設定 (1/3)

ホストグループを定義する

始めにホストが所属するホストグループを作成しましょう。

メニュー : ホストグループ管理 > ホストグループ一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

ホストグループID	ホストグループ名*	優先順位(大きい方が強い)*
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホストグループ名	優先順位
All_SV	1
web_SV	2
db_SV	3

2.5 ホストグループの設定 (2/3)

ホストグループ間の親子関係を定義する

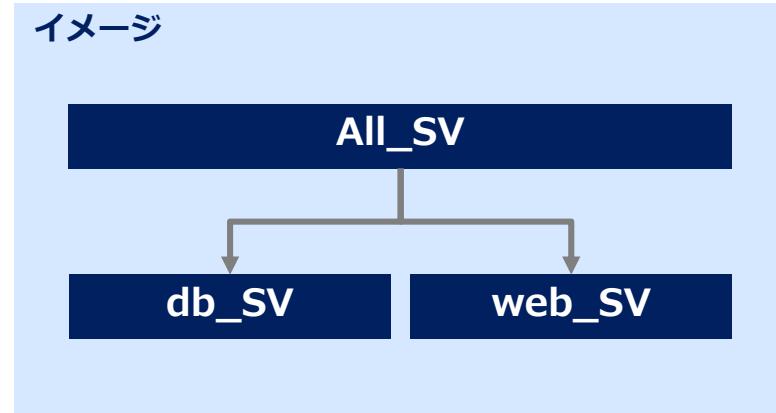
ホストグループ間の親子関係を定義しましょう。

メニュー：ホストグループ管理 > ホストグループ親子紐付

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択し、[登録]を押下する。

項目番	ホストグループ	
	親*	子*
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホストグループ	
親	子
All_SV	db_SV
All_SV	web_SV



2.5 ホストグループの設定 (3/3)

ホストグループへホストを登録する

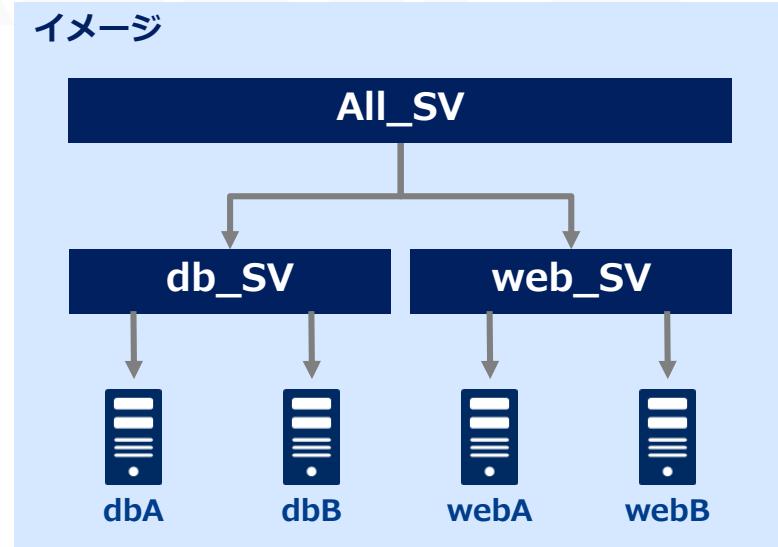
作成したホストグループに対して、ターゲットホストを紐付けましょう。

メニュー：ホストグループ管理 > ホスト紐付管理

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択し、[登録]を押下する。

項目番	ホストグループ名*	オペレーション	ホスト名*
自動入力			

ホストグループ名	オペレーション	ホスト名
db_SV	基本設定 全台	dbA
db_SV	基本設定 全台	dbB
web_SV	基本設定 全台	webA
web_SV	基本設定 全台	webB



2.6 メニューの管理 (1/6)

データシートを作成する

データシートを作成しましょう。

このデータシートに登録した値が、後ほどプルダウン選択の選択肢となります。

メニュー: メニュー作成 > メニュー定義/作成

- ① 各項目へ下表のように入力する。
- ② [対象メニューグループ]はデフォルトの「入力用」にしておきます。

メニュー名*: タイムゾーン一覧
作成対象: データシート
表示順序*: 1
対象メニューグループ
入力用*: 入力用

項目名	入力内容
メニュー名	タイムゾーン一覧
作成対象	データシート
表示順序	1

2.6 メニューの管理 (2/6)

データシートの項目名を定義する

前項に続き、シートの項目を定義していきましょう。

- ③ [項目]を押下し、項目を2つ追加する。
- ④ 各項目について、下表のように入力する。
- ⑤ 画面下部の[作成]を押下する。

The screenshot shows the 'Project' tab selected in the top navigation bar. Three new items have been added to the list: 'Timezone', 'UTC', and 'JST'. Each item is defined as a 'Text string (single line)' with a maximum length of 32 bytes, and both 'Required' and 'Unique constraint' checkboxes are checked. Below this, a table maps these items to their definitions:

項目名	入力方式	最大バイト数	必須	一意制約
Timezone	文字列(單一行)	32	✓	✓
UTC	文字列(單一行)	32	-	-
JST	文字列(單一行)	32	-	-

To the right, a preview screen shows a list of operations with host names and execution times. An orange '作成' (Create) button is highlighted with a blue circle and the number 5.

2.6 メニューの管理 (3/6)

ホストグループ利用有りのメニューを作成する

ホストグループ用のパラメータシートを作成し、
ホストグループに適用するパラメータを管理しましょう。

メニュー: メニュー作成 > メニュー定義/作成

- ① 「基本情報」各項目へ下表のように入力する。
- ② [対象メニュー群]はデフォルトの「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」にしておきます。

The screenshot shows the 'Menu Creation Information' screen with several fields highlighted by red boxes:

- 項目: 自動入力
- メニュー名*: サーバ用パラメータ
- 作成対象*: パラメータシート (ホスト/オペレーション)
- 表示順序*: 1
- ホストグループ利用: 利用する
- 縦メニュー利用: 利用する
- 最終更新日時: 自動入力
- 最終更新者: 自動入力
- 対象メニュー群

 - 入力用*: 入力用
 - 代入値自動登録用*: 代入値自動登録用
 - 参照用*: 参照用

- 対象メニュー群を選択
- 一意制約(複数項目)
- パターン:
- 一意制約(複数項目)を適用

項目名	入力内容
メニュー名	サーバ用パラメータ
作成対象	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)
表示順序	1
ホストグループ利用	✓

2.6 メニューの管理 (4/6)

パラメータシートの項目名を定義する

前項に続き、シートの項目を定義していきましょう。

- ③ [項目]を押下し、新しい項目を追加する。
- ④ 各項目について、下表のように入力する。
- ⑤ 画面下部の[作成]を押下する。

The screenshot illustrates the configuration of a parameter sheet. On the left, a 'Parameter' dialog box is open, showing two fields: 'Timezone' (dropdown) and 'Nameserver_ip' (text input). Both fields have red boxes around them, indicating they are being configured. Step 3 is highlighted with a blue circle and arrow pointing to the '項目' button in the top-left corner of the dialog. Step 4 is highlighted with a blue circle and arrow pointing to the '参照項目' section where 'UTC,JST' is selected. Step 5 is highlighted with a blue circle and arrow pointing to the '作成' (Create) button at the bottom right of the dialog. Below the dialog, a table shows the configuration details:

項目名	入力方式	選択項目	参照項目
Timezone	プルダウン選択	入力用:タイムゾーン一覧:パラメータ/Timezone	UTC、JST
項目名	入力方式	最大バイト数	
Nameserver_ip	文字列(單一行)	32	

On the right, a preview window shows a list of operations with three entries, each with host name '192.168.0.1' and operation name 'オペレーション'. The '作成' button is also highlighted with a blue circle.

2.6 メニューの管理 (5/6)

ホストグループ利用無しのメニューを作成する

ホスト用のパラメータシートを作成し、
ターゲットホストに適用するパラメータを管理しましょう。

メニュー：メニュー作成 > メニュー定義/作成

- ① 「基本情報」各項目へ下表のように入力する。
- ② [対象メニュー群]はデフォルトの「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」にしておきます。

メニュー作成情報

基本情報 :

項目番号 : 自動入力

メニュー名* : ホスト名

作成対象 : パラメータシート (ホスト/オペレーション)

表示順序* : 1

最終更新日時 : 自動入力

最終更新者 : 自動入力

対象メニュー群 :

入力用* : 入力用

代入値自動登録用* : 代入値自動登録用

参照用* : 参照用

対象メニュー群

項目名	入力内容
メニュー名	ホスト名
作成対象	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)
表示順序	1

2.6 メニューの管理 (6/6)

パラメータシートの項目名を定義する

前項に続き、シートの項目を定義していきましょう。

- ③ [項目]を押下し、新しい項目を追加する。
- ④ 各項目について、下表のように入力する。
- ⑤ 画面下部の[作成]を押下する。

The image shows two screenshots of a software interface for defining parameter sheet items.

Left Screenshot: A configuration dialog for a new item named "Hostname". The "Hostname" field is highlighted with a red box. The "最大バイト数" (Maximum byte count) field is also highlighted with a red box and contains the value "32". A blue circle with the number "3" points to the "項目" (Item) button at the top left. A blue circle with the number "4" points to the bottom table showing the configuration details.

項目名	入力方式	最大バイト数
Hostname	文字列(單一行)	32

Right Screenshot: A preview of the parameter sheet titled "一覧(プレビュー)" (List Preview). It shows a table with three rows of data. The first row has a "No." of 1, a "ホスト名" (Host Name) of "192.168.0.1", an "オペレーション名" (Operation Name) of "オペレーション", a "基準日時" (Standard Time) of "2020/01/01 00:00", an "実施予定日" (Implementation Date) of "2020/01/01 00:00", and a "最終実行日" (Last Execution Date) of "2020/01/01 00:00". The second and third rows are identical. A blue circle with the number "5" points to the "作成" (Create) button at the bottom of the preview window.

No.	ホスト名	オペレーション名	基準日時	実施予定日	最終実行日
1	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00
2	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00
3	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00

2.7 データ登録 (1/3)

データシートにデータを登録する

データシートとパラメータシートが作成されました。

作成したメニューに移動し、データを入力していきましょう。

メニュー: 入力用 > タイムゾーン一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

No	Timezone*	UTC	JST	アクセス権		備考	最終更新日時	最終更新者
				設定	アクセス許可ロール			
自動入力				設定			自動入力	自動入力

Timezone	UTC	JST
Asia/Tokyo	+9	0
America/New_York	-4	-13

2.7 データ登録 (2/3)

パラメータシートにデータを登録する

ホストグループ利用有りのメニューに、データを入力していきましょう。

メニュー: 入力用 > サーバ用パラメータ

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

No	ホスト名/ホストグループ名*	オペレーション	パラメータ
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホスト名/ ホストグループ名	オペレーション	Timezone	Nameserver_ip
[HG]All_SV	基本設定 全台	Asia/Tokyo	10.15.1.30
[HG]db_SV	基本設定 全台	Asia/Tokyo	10.15.1.30
[HG]web_SV	基本設定 全台	Asia/Tokyo	10.15.1.62

- 前項でデータシートに入力した内容から選択できます。
- 登録後、参照項目UTCとJSTが確認できます。

履歴	複製	更新	廃止	No	最終実行日時	Timezone	パラメータ		
							UTC	JST	Nameserver_ip
履歴	複製	更新	廃止	1	2021/08/31 16:56	Asia/Tokyo	+9	0	10.15.1.30
履歴	複製	更新	廃止	2	2021/08/31 16:56	Asia/Tokyo	+9	0	10.15.1.30
履歴	複製	更新	廃止	3	2021/08/31 16:56	Asia/Tokyo	+9	0	10.15.1.62

2.7 データ登録 (3/3)

パラメータシートにデータを登録する

ホストグループ利用無しのメニューに、データを入力していきましょう。

メニュー: 入力用 > ホスト名

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

No	ホスト名*	オペレーション	パラメタ
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> Hostname

ホスト名	オペレーション	Hostname
dbA	基本設定 全台	dbA
dbB	基本設定 全台	dbB
webA	基本設定 全台	webA
webB	基本設定 全台	webB

2.8 代入値自動登録設定

代入値自動登録設定を行う

データシートとパラメータシートの入力が終わったところで、各項目と変数を関連付けていきましょう。

メニュー: Ansible-Legacy > 代入値自動登録設定

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

項目	パラメータシート(From)		項目*	登録方式*	Movement*	IaC変数 (To)		Value変数	代入順序
	メニュー	項目	メニューを選択して下さい	登録方式	Movement	変数名	代入順序	変数名	代入順序
自動入力	サーバ用パラメータ	Timezone	Value型	Set Timezone	Movement	VAR_locale_timezone			
	サーバ用パラメータ	Nameserver_ip	Value型	Add Nameserver		VAR_nameserver_ip			
	ホスト名	Hostname	Value型	Set Hostname		VAR_hostname			

パラメータシート (From)		登録方式	IaC変数 (To)	
メニュー	項目		Movement	Value変数
				変数名
サーバ用パラメータ	Timezone	Value型	Set Timezone	VAR_locale_timezone
サーバ用パラメータ	Nameserver_ip	Value型	Add Nameserver	VAR_nameserver_ip
ホスト名	Hostname	Value型	Set Hostname	VAR_hostname

2.9 代入値・作業対象ホストの確認

代入値と作業対象ホストを確認する

代入値自動登録により指定された値と対象ホストを確認しましょう。

メニュー: Ansible-Legacy > 作業対象ホスト/代入値管理

- ① [フィルタ]を押下する
- ② 「legacy代入値自動登録設定プロシージャ」によって正しい値が指定されていることを確認する。

履歴	複製	更新	廃止	6	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	3:dba	代入値管理		2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	7	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	4:dbb	代入値管理		2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	8	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	1:weba	代入値管理		2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	9	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	2:webb	代入値管理		2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	10	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	3:dba	代入値管理		2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	11	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	4:dbb	代入値管理		2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	12	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	1:weba	代入値管理		2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	13	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	2:webb	代入値管理		2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	14	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	3:dba	代入値管理		2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	15	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	4:dbb	代入値管理		2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	16	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	1:weba	代入値管理		2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	17	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	2:webb	代入値管理		2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

作業対象ホスト

履歴	複製	更新	廃止	1	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	3:dba	1:VAR_locale_timezone OFF	Asia/Tokyo	2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	2	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	4:dbb	1:VAR_locale_timezone OFF	Asia/Tokyo	2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	3	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	1:weba	1:VAR_locale_timezone OFF	Asia/Tokyo	2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	4	5: 基本設定 全台	6:Set Timezone	2:webb	1:VAR_locale_timezone OFF	Asia/Tokyo	2021/08/31 14:20:35	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	5	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	3:dba	2:VAR_nameserver_ip OFF	10.15.1.30	2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	6	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	4:dbb	2:VAR_nameserver_ip OFF	10.15.1.30	2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	7	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	1:weba	2:VAR_nameserver_ip OFF	10.15.1.62	2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	8	5: 基本設定 全台	8:Add Nameserver	2:webb	2:VAR_nameserver_ip OFF	10.15.1.62	2021/08/31 14:21:20	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	9	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	3:dba	3:VAR_hostname OFF	dba	2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	10	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	4:dbb	3:VAR_hostname OFF	dbb	2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	11	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	1:weba	3:VAR_hostname OFF	weba	2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	12	5: 基本設定 全台	7:Set Hostname	2:webb	3:VAR_hostname OFF	webb	2021/08/31 14:21:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

代入値管理

2.10 Conductorの実行 (1/2)

Conductorを実行する

前項までの操作で、Conductorの作成と代入値の登録が終了しました。
最後にConductorを実行し、結果を対象ホストで確認してください。

メニュー : Conductor > Conductor作業実行

The screenshot shows the Conductor application interface with the following steps highlighted:

- 1** In the top-level "Conductor[一覧]" list, the first item, "1 サーバ基本設定", is selected. A callout notes: "Conductor一覧から「サーバ基本設定」を選択する。"
- 2** In the "オペレーション[一覧]" list, the second item, "5 基本設定 全台", is selected. A callout notes: "オペレーション「基本設定 全台」を選択する。"
- 3** At the bottom of the screen, the "[実行]" (Execute) button is highlighted.

Tips 行後、自動で【Conductor作業確認】へ画面遷移します。

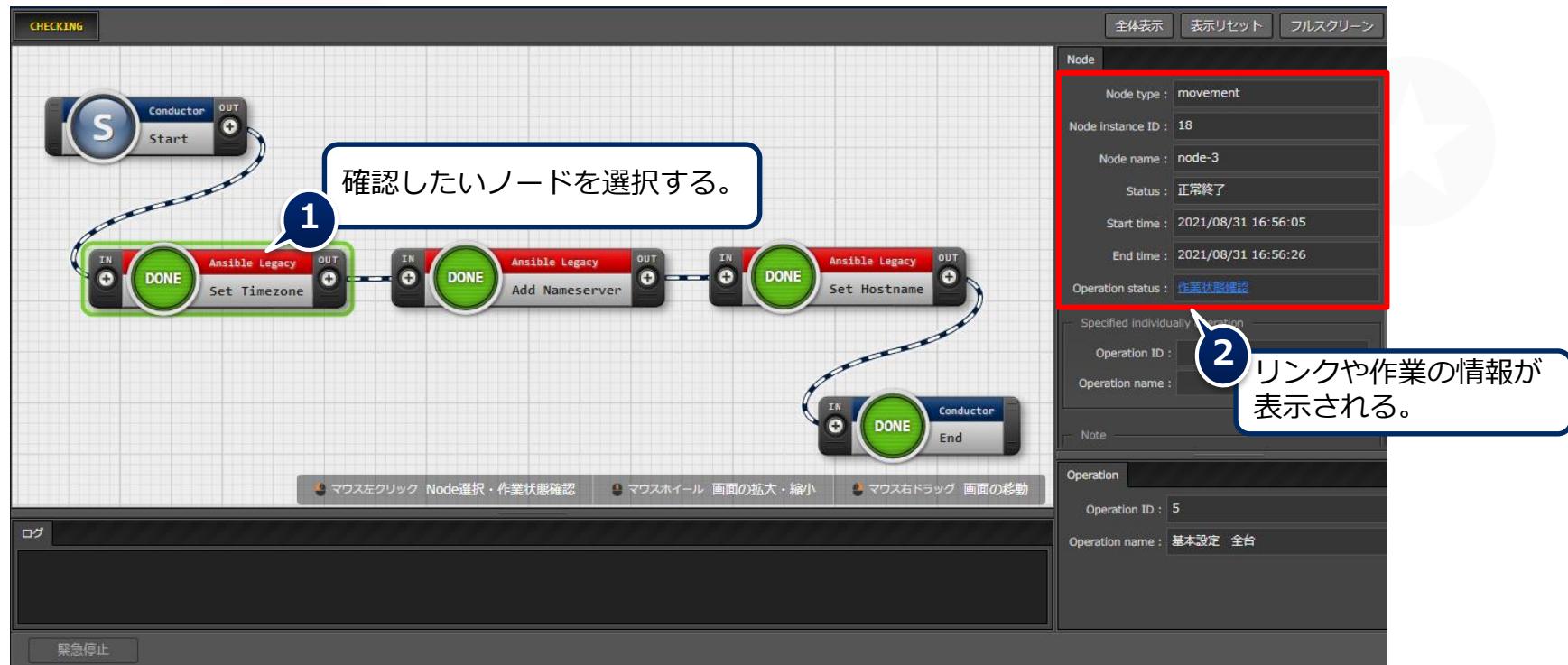
2.10 Conductorの実行 (2/2)

Conductorの実行結果を確認する

作業確認画面では、全体およびノードごとの実行結果を確認できます。

投入したMovementを選択すると、**詳細結果へのリンク**を表示できます。「DONE」「ERROR」などの丸い部分を押下しても詳細結果へリンクできます。

メニュー : Conductor > Conductor作業確認



2.11 参照用パラメータシートの確認

参照用パラメータシートの内容を確認する

前項までの操作により、設定したパラメータをターゲットホストに適用できました。
最後に参照用パラメータシートを確認し、実行日時などが記録されたことを確認しましょう。

メニュー：参照用 > サーバ用パラメータ

- ① [フィルタ]を押下する。
- ② 「基準日時」や「最終実行日時」が更新されていることを確認する。

履歴	No	ホスト名	オペレーション				パラメータ				最終更新日時	最終更新者	
			ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	Timezone	UTC	JST	Nameserv		
履歴	1	dba	5	基本設定 全台	2021/08/31 16:56	2021/09/01 10:00	2021/08/31 16:56	Asia/Tokyo	+9	0	10.15.1.3	2021/08/31 14:16:43	ホストグループ分解機能
履歴	2	dbb	5	基本設定 全台	2021/08/31 16:56	2021/09/01 10:00	2021/08/31 16:56	Asia/Tokyo	+9	0	10.15.1.3	2021/08/31 14:16:43	ホストグループ分解機能
履歴	3	weba	5	基本設定 全台	2021/08/31 16:56	2021/09/01 10:00	2021/08/31 16:56	Asia/Tokyo	+9	0	10.15.1.6	2021/08/31 14:17:24	ホストグループ分解機能
履歴	4	webb	5	基本設定 全台	2021/08/31 16:56	2021/09/01 10:00	2021/08/31 16:56	Asia/Tokyo	+9	0	10.15.1.6	2021/08/31 14:17:24	ホストグループ分解機能

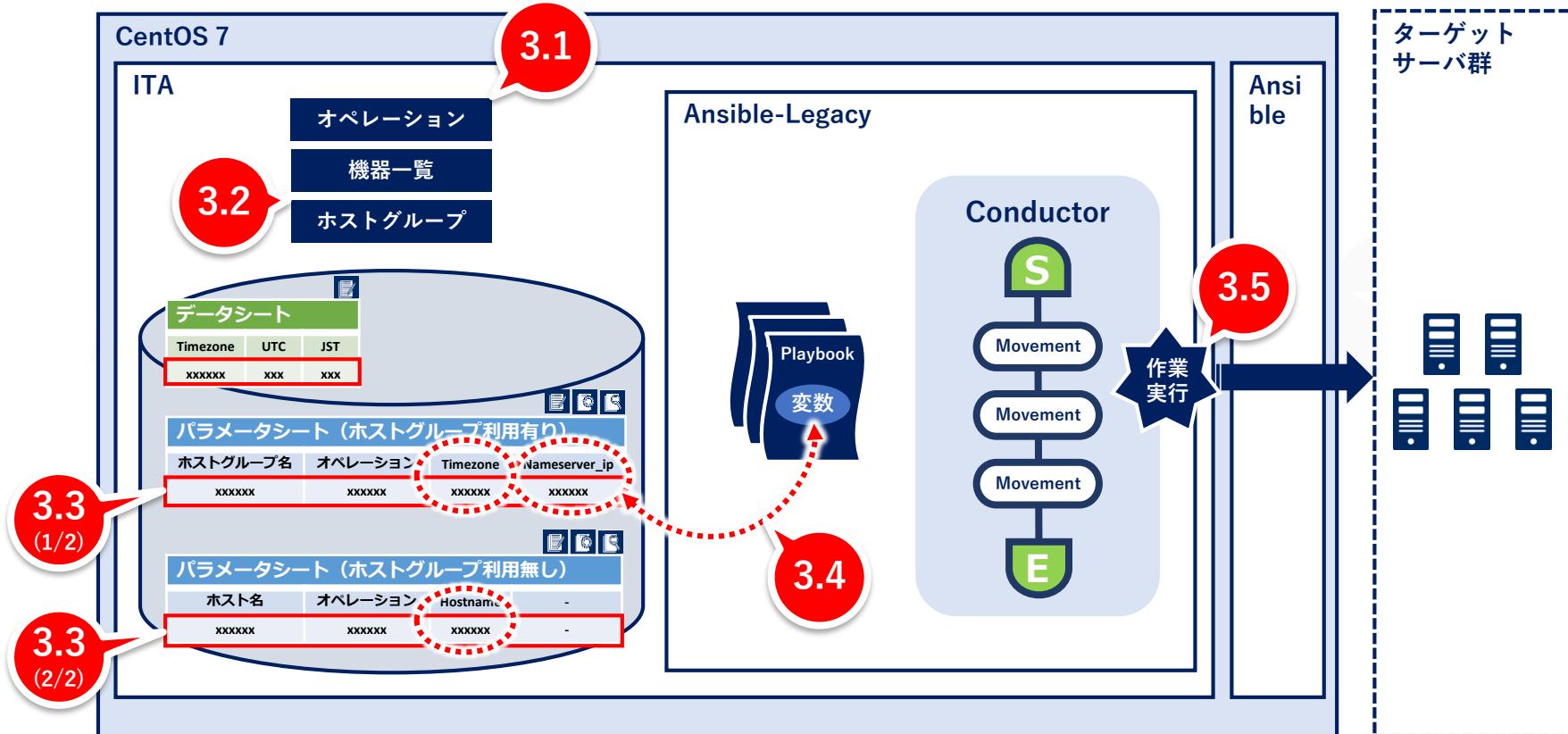
3. 実習 シナリオ②



シナリオ② 全体図

以下の図の流れで作業していきます。

- [シナリオははこちら](#)



3.1 オペレーションの登録

オペレーションを新規登録する

追加のオペレーションを作成しましょう。

メニュー：基本コンソール > 投入オペレーション一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*
自動入力	自動入力		

オペレーション名	実施予定日時
基本設定 追加サーバのみ	(任意でご入力下さい)

「実施予定日時」は管理用の項目です。
自動的に処理が実行されるわけではありません。

3.2 ホストグループへのホスト追加

ホストグループへホストを登録する

追加のホストをホストグループに登録しましょう。

メニュー：ホストグループ管理 > ホスト紐付管理

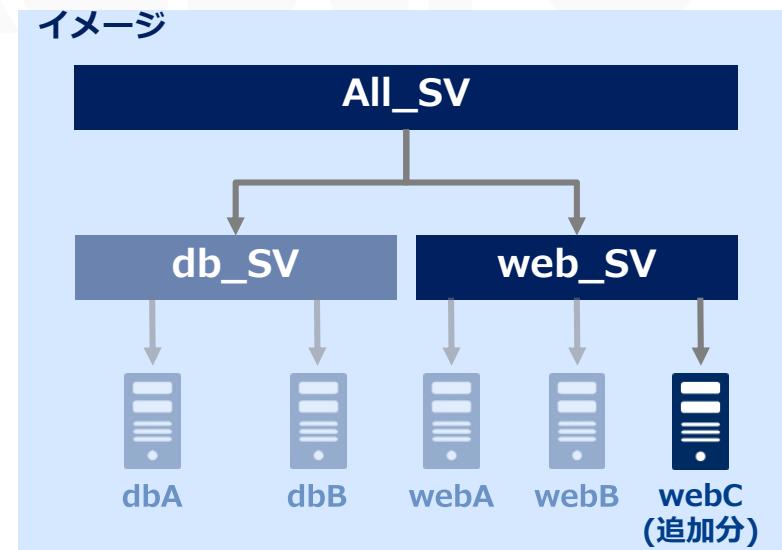
- ① 【新規登録】登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択し、[登録]を押下する。

項目番号	ホストグループ名	オペレーション	ホスト名
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホストグループ名	オペレーション	ホスト名
web_SV	基本設定 追加サーバのみ	webC

Point

ホストグループ「web_SV」はオペレーション「基本設定全台」でも使用しましたが、今回追加する分はオペレーション「基本設定 追加サーバのみ」とするので、作業実行時はwebCだけが作業対象となります。



3.3 データ登録 (1/2)

■ パラメータシートにデータを登録する

シナリオ①で作成したメニューに移動し、データを入力していきましょう。

メニュー: 入力用> サーバ用パラメータ

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

No	ホスト名/ホストグループ名*	オペレーション	パラメータ
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			<input type="text"/>

ホスト名/ホストグループ名	オペレーション	Timezone	Nameserver_ip
[HG]web_SV	基本設定 追加サーバのみ	Asia/Tokyo	10.15.1.62

3.3 データ登録 (2/2)

■ パラメータシートにデータを登録する

追加するホスト名のデータを登録しましょう。

メニュー: 入力用> ホスト名

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

No	ホスト名*	オペレーション	パラメータ
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホスト名	オペレーション	Hostname
webC	基本設定 追加サーバのみ	webC

3.4 代入値・作業対象ホストの確認

代入値と作業対象ホストを確認する

代入値自動登録により指定された値と対象ホストを確認しましょう。

メニュー: Ansible-Legacy > 作業対象ホスト/代入値管理

- ① [フィルタ]を押下する
- ② 「legacy代入値自動登録設定プロシージャ」によって「webC」のデータだけが追加されていることを確認する。

作業対象ホスト

履歴	複製	更新	廃止	18	6:基本設定 追加サーバのみ	6:Set Timezone	5:webc	代入値管理	2021/08/31 14:48:42	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	19	6:基本設定 追加サーバのみ	8:Add Nameserver	5:webc	代入値管理	2021/08/31 14:48:42	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	20	6:基本設定 追加サーバのみ	7:Set Hostname	5:webc	代入値管理	2021/08/31 14:49:15	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

代入値管理

履歴	複製	更新	廃止	13	6:基本設定 追加サーバのみ	6:Set Timezone	5:webc	1:VAR_locale_timezone	OFF		Asia/Tokyo	2021/08/31 14:48:42	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	14	6:基本設定 追加サーバのみ	8:Add Nameserver	5:webc	2:VAR_nameserver_ip	OFF		10.15.1.62	2021/08/31 14:48:42	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	15	6:基本設定 追加サーバのみ	7:Set Hostname	5:webc	3:VAR_hostname	OFF		webC	2021/08/31 14:49:15	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

3.5 Conductorの実行

Conductorを実行する

再度Conductorを実行し、
作業がホスト「webC」にだけ反映されたことを確認してください。

メニュー : Conductor > Conductor作業実行

The screenshot shows the Conductor application interface with the following steps:

- Step 1:** The "Conductor[一覧]" (Conductor List) screen is displayed. A callout points to the "サーバ基本設定" (Server Basic Settings) row in the list, which is highlighted with a red border. A blue circle labeled "1" is placed over the list header.
- Step 2:** The "オペレーション[一覧]" (Operation List) screen is displayed. A callout points to the "基本設定 追加サーバのみ" (Basic Settings, Add Server Only) row in the list, which is highlighted with a red border. A blue circle labeled "2" is placed over the list header.
- Step 3:** The bottom of the screen shows a toolbar with a red button labeled "実行" (Execute). A callout points to this button, and a blue circle labeled "3" is placed over it.

Tips 実行後に【Conductor作業確認】へ画面遷移します。
結果の確認画面については、[こちらのスライド](#)を参照してください



Exastro